

News Release

アクセンチュアとインターワイズ、共同で e コミュニケーション市場を開拓

e ラーニング (*1)をさらに効果的に e コミュニケーション(*2)を 活用した人材・組織変革ソリューションを提供

アクセンチュア株式会社
インターワイズ株式会社

先進的な経営コンサルティングとテクノロジー・ソリューションを提供するグローバル企業、アクセンチュア（CEO: ジョー・フォーハンド）の日本法人、アクセンチュア株式会社（東京都港区赤坂、代表取締役社長：森 正勝）と、ライブ e ラーニングをはじめとする、e コミュニケーション・ソリューションのリーディングベンダ、インターワイズ（本社：米国マサチューセッツ州ケンブリッジ、社長兼 CEO:ズヴィ・フランク）の日本法人、インターワイズ株式会社（本社：東京都港区虎ノ門、代表取締役社長：堀内 匡）は本日、日本国内の e ラーニング分野で協業し、同分野で今後飛躍的に需要拡大が見込まれる双方向同期型 e コミュニケーション (*3)・プラットフォームのソリューションを共同で展開していくことを発表いたしました。

アクセンチュア株式会社では 2001 年 1 月に、学習管理システム（LMS）ならびに非同期型ソリューションにおけるリーディングベンダ、ドーセント（本社：カリフォルニア州マウンテンビュー市、会長 兼 社長 兼 CEO :デイブ・エレット）の日本法人であるドーセント株式会社との協業関係を締結し、同市場拡大に向けて取り組んで参りました。今回のインターワイズ株式会社との協業は、特に同期型ソリューションにおけるアクセンチュア株式会社の取り組みをさらに強めるものです。

今回の協業は、米国において既に締結されているアクセンチュアとインターワイズのグローバルな提携関係の一環として行われるものです。両社は、今後日本においても e ラーニングを実施する上で最も効果的手段となる e コミュニケーションの重要性に着目し、双方向同期型 e コミュニケーションにより、業務成果に結びつく各企業固有の社員教育を通して、人材・組織変革を支援するソリューションを提供、主として以下のサービスと活動を共同で行ってまいります。

- アクセンチュア株式会社のヒューマン・パフォーマンス・グループがインターワイズの主力製品「Interwise ECP (Enterprise Communications Platform)」を活用した各種ソリューションを提供（人材開発、ナレッジ・マネジメントのインフラ整備、企業ビジョンの浸透および風土改革など）。

- 国内 e ラーニング市場の活性化とその効率化のために、e コミュニケーションに特化した展示会への参加、セミナーの開催といった、共同マーケティング活動。

現在、各企業がその競争力の源泉たる「人材」に着目し、人材パフォーマンスの最大化に取り組む中、e ラーニングは、IT や Web の持つ特性を最大限に活かし、高度な実践的スキルやコミュニケーション能力を、場所、時間の制約なく、スピーディに習得することを可能にする新たな教育形態として、国内でも高い成長が見込まれています。しかしながら、現状は下記の問題があります。

- 現在市場に出ている e ラーニング・プラットフォームは、基本的に非同期を前提としており、提供される教育コンテンツがそれ自身で完結したものであるため（すなわち、講師（コーチ）・アドバイザー・メンターといった情報提供者が存在せず、教材そのものとして自主学習可能であるもの）高度な知識・スキルを習得するための複雑なコンテンツ開発には、非常に高いコストがかかる。
- e ラーニングが十分な効果を発揮するために必要な、社員が自主的に学ぶ風土とそれを評価する仕組みを確立するまで、かなりの時間を要する。

そこで、今まで企業で行ってきた集合研修の形態・コンテンツをできるかぎり活用しながら、即座に e ラーニングのメリットである「時間的・場所的制約からの解放」を享受できないかというニーズ、さらには現在の企業環境においては、企業ビジョンの浸透、チーム内の意識統一、キャリアプランのカウンセリング等で求められる双方向でのリアルタイム・コミュニケーションの必要性からも同様のニーズが高まっています。

インターワイズの主力製品である、コミュニケーション・コラボレーション統合プラットフォーム「Interwise ECP」は、1対1のカウンセリングやアドホックなグループミーティング、数十人参加のクラスルーム形式研修から、数千人規模のライブイベントまでリアルタイムでインタラクティブなコミュニケーションをインターネット上で可能とする統合的プラットフォームです。通常集合研修で使用される PowerPoint・Excel・Word で作成された教材をベースに、講師が教材上にポイントを書き込めるホワイトボード機能や、講師と受講者がリアルタイムにコミュニケーションできる VoIP 機能、ビデオ機能など、上記の市場ニーズを完全に充足する機能を搭載しております。米国において Microsoft 社や PeopleSoft 社など約 300 社の導入実績があり、日本国内でもアクセンチュア、NTT コミュニケーションズ、NTT ラーニングシステムズ、富士通 FIP、コンパックコンピュータ、大阪大学、SAP ジャパンなど、ASP ならびにライセンス提供を含めて約 30 社に導入しています。

アクセンチュアは、インターワイズの「Interwise ECP」をあらゆる企業内コミュニケーションのためのプラットフォームとして活用し、e コミュニケーションを軸とした人材開発ソリューションのみならず、ナレッジ・マネジメントにおける暗黙知の共有・活用の仕組み作り、さらには組織内のビジョン浸透および風土改革といった、ヒューマン・パフォーマンス向上の側面からの企業変革ソリューションを提供していくこととなります。

アクセンチュアでは全世界で約 2,500 名、国内において約 100 名の人材／組織変革における専門のコンサルタントを擁し、インターワイズのプラットフォームを活用したヒューマン・パフォーマンス向上施策の策定から定着化・運用までの一貫したソリューションを提供いたします。

また、インターワイズ株式会社はアクセンチュア株式会社とのヒューマン・パフォーマンス向上の為の業務改革コンサルティングノウハウを活用する他、NTT コミュニケーションズ株式会社、株式会社理経、日商エレクトロニクス株式会社といった国内販売パートナーとも提携しています。

- (*1) eラーニング：パソコンやインターネットを通じて行なわれる（社員）教育
- (*2) eコミュニケーション：パソコンやインターネットを通じて行われる（社内）情報伝達・共有・コラボレーションを支援する、全く新しい双方向同期型コミュニケーション
- (*3) 双方向同期型e コミュニケーション：情報発信と情報受信が同時期になされ、情報の流れが一方通行でなく、ユーザが情報の受け手・送り手のどちらにもなりうる情報伝達方法。

【インターワイズ 株式会社 概要】

商号： インターワイズ 株式会社
英文社名： Interwise Japan K.K.
設立年月日： 2001年5月1日
本社所在地： 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-7-12 虎ノ門3丁目アネックス
代表者： 代表取締役社長 堀内 匡
資本金： 1,000万円
主要株主： 米国本社インターワイズ（100%）
事業内容： Enterprise Communications Platform 製品販売ならびに関連サポート
取引銀行： みずほ銀行神谷町支店

【インターワイズ 製品 概要】

商品名： Interwise ECP
発売時期： 2001年11月15日
製品概要： 企業向け双方向同期型コミュニケーション・ツール。1対1のメンタリング、10人程度のミーティング、数十人規模のクラスルーム、数百人規模のセミナーから、数千人規模のウェブキャストまでカバーする。
価格： 個別見積もり
販売代理店： NTTコミュニケーションズ（株）、（株）理経、日商エレクトロニクス（株）
欧米での実績（顧客数）： 300+
市場シェア（US, Europe）： 30%程度（同期型プラットフォーム内のシェア）

アクセントチュアについて

アクセントチュアは、経営コンサルティングとテクノロジー・サービスにおける世界的な先進企業です。アライアンスや関連会社設立、その他の手法を通じ、コンサルティングやアウトソーシングに関するノウハウを蓄積、独自のビジネスアプローチとそのネットワークにより、あらゆる業界の顧客企業が自社のビジョンを迅速に実現できるよう、「革新」を提供します。アクセントチュアは世界 47 カ国に 7 万 5 千人以上の社員を擁し、2001 年 8 月 31 日を期末とする 2001 会計年度の売上高は 114 億 4 千万ドルでした(2001 年 7 月 19 日 NYSE 上場、略号:ACN)。

アクセントチュアの詳細は

www.accenture.com を、

アクセントチュア株式会社の詳細は

www.accenture.com/jp をご覧ください。

インターワイズについて

Interwise は 1994 年に、イスラエルのテルアビブ市に創業。2002 年 3 月から米国マサチューセッツ州ケンブリッジに本社を置き、現在、米国内主要都市、ロンドン、パリ、ローザンヌ、テルアビブ、シンガポール、シドニー、北京、東京にオフィスを構えています。インターワイズ株式会社は Interwise の日本における 100%子会社です。

Interwise の主力製品である「Interwise ECP」は、同期型コラボレーション、コミュニケーション、eラーニングを単一のプラットフォームでカバーする、エンタープライズ・ソリューションです。詳細な情報は www.interwise.com/ をご覧ください。